



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

初めて原爆について細かいエピソードを聞いて驚きと怖さがあった。

原爆が落とされた時にたまたま地下にいた人が命が助かっていることを

知た。17才の時に軍隊にいた人もたまたまドラム管？の所にいたから

命が助かっているその後原爆について自分たちみたいな原爆の存在を

知らない年代にも伝えていけるからすごい人だと思った。

助けようとして、手をかんだら皮がはがれてすべり落ちてしまうというエピソードが

うを前にして人の様子とは思えない被爆者の姿の話が凄くした。

600mの上空にある球は太陽より1000℃も熱い7000℃ということを知

て知って当時の人が一瞬にして消えてしまい影になってしまうのが少し理解

できた。原爆は落としてから4mを進むからぬらしてはいるけど、

遅でもあると思った。

衝撃波の速さが音よりも速くて後から音が来るといったことが

びっくりした。

アメリカが京都に落とさなかった理由の1つに文化財があるからというの

があってアメリカはただ自分たちだけが原爆を持っていることを見せつけ

たいだけで日本の1つを爆発させたのが許せないと思った。

被爆地の確保の1つに横浜があったということを知った。

これから先この事について話してくれる人はどんどん少なくなるから

自分たちも下の代に伝えていきたいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日話してくださったことが、本当のことだと考えると、すごい大変
 だっただろうし、本当のことだと考えたくもないと思いました。1人の同
 じ日本人として、原爆のことについてしっかり分かっていたのが、
 悪いことだと改めて感じました。本当は言葉では伝えきれないほど、
 の出来事なのに、わかりやすい言葉で話してくださったおかげで、
 原爆について理解できました。私は元々原爆のことについて、広島
 と長崎に投下されたことくらいしか知らなかったけれど、横浜や京都
 などにも投下される都市の候補になったこと、原爆投下都市の条件、投下
 された後の状況などをたくさん知れてとてもためになりました。この
 授業を受けたことで、修学旅行で広島に行くことへの意欲や気持ち
 がかなり変わりました。いつもと変わらない日常がいまよりうばわれろと
 いうことがこういうことなのかと感ずることができました。今の普通の
 平和な日常がいつまでも続くと思っていたらダメだと思いました。後半の
 実話で、原爆資料館に義三さんが行ったときに、何とも思わなかったと
 言っていて、本当は原爆資料館に保管されているものよりもっとひど
 い状況だったのだと驚きました。京都に原爆を投下しなかったのは、
 日本人の感情を考慮した」と言っていたけれど、投下しないことが
 一番の考慮ではないかと考えました。核兵器をもう一往使わないように、
 核兵器禁止条約に署名したりして、日本が先頭に立って行動した方がいいと



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

げん
いしはらま

表

原爆が落ちた後、川が蒸発するほど熱かったり、コンクリートのがんじょうで水に囲まれた場所にて難しても、川にとびこんでも焼けてしまったり、想像を絶するような状態だったと思います。

生き残ったとしても、全身大やけどをおい、皮ふがぐらぐらすべり落ちて激痛に苦しみながら自分たちに助けを求める人達を無視しなければいけない程の状態だったことに恐怖を感じました。それに、川にとびこんでそのまま亡くなった人達の遺体の焼くも、夏だから臭いもすごいし、私達もたえられなくて命令でも投げ出したくなると思います。

足にやけどをしていた女性も、やけどだけでもめちゃくちゃ痛いけど、うじがわいて、治れるときも、包が傷口にはりついて、はがす時もそう痛いんだろうなと思いながら聞いていました。よしぞうさんが体馬灸したことを想像しながら聞いていて、我ながらすごく生々しい想像をしてしまって、少し気持ち悪くなってしまうのですが、その場にいた軍の放りや、被害をおた放りもとても正しい体馬灸をしていたと思うと、苦しくなります。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

実際の原爆投下時の音と似て異なる音が発せられた時、背中にゾクゾクする背筋が凍るような恐怖心、驚きも覚えられた。候補であった(最終的には)広島、小倉、長崎の天候次第では原爆による被害がなかったかもしれないと思うと、なぜ天候が広島では良く、長崎では1筋の雲間ができてしまったのかすごくうらめしいと思いました。爆心地の近くには全身やけどを負った人の想像するだけでも吐き気がしてくるのにさらにその人たちの死体を背にかせて運んだ義三さんの心情は同情してもいれなような気持ちであったときいきにも思いました。私が特に驚いたのは原子爆弾爆発時の温度です。太陽以上の温度のものが真上600mにおちたんで想像してもしきれず、さらに3000℃の熱が地上を覆っていったら人々がどこかにあつという間に消滅してしまうのかと思いました。それに広島に投爆したリトルボーイをのせたエノラ・ゲイという名前が機長の母の名前だと知った時、自身の母の名を付した機が多くなつてを殺した爆弾を投下したのを思うとどのような思いでその名を付けたのか理解ができていないかと思いました



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

当時の状況がどれほどひさんなのかがすごく感じることが
できました。義三さんが17歳でまだ若いときに徴兵され
て様々な被爆者を見てその思いをこうしてまるで自分
たちがそこにおいて体験したかのように詳しく伝えて
くれて、原子爆弾という出来事はほんとうに昨日のこと
のように覚えている - ほ忘れられない悲しいことなんだ
など感じ伝わりました。被爆者の皮がはがれたり
垂れ落ちる油など、想像するだけで痛かったです。
米軍の人にはこのような巨悪な原爆を日本人の気
持ちなど一切考えずおもちゃのようにやっていたこと
に腹かた立ちました。一番印象に残っているのは、京都
に原爆を落としたり山で衝撃波がはねかえると
言ってそこに落とそうとしていたことです。どんな教
育を受けたんでしょうか！悪のかたまりです。そして父が
資料を見て、「こんな事じゃない」と言ったのが、あんな
ものより現実はおもとひどいと伝わりました。
最後に見たビデオで当時の被爆者のことを
思い出して泣きそうになりながらも伝えてくれ
て、あらためて戦争の恐ろしさを実感しました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/10

原爆を落とす可いあたりに、アメリカで出てくる都市の候補が6つもありました。

驚きました。また、その候補も簡単に決められたわけではなく、条件が

決められていて、それは当てはまる都市を探して抜粋したアメリカでも多いと思われました。

最終的に決められた3つの候補となる都市で、その日の天候状況は

投下可能な場所を決めたところを知り、爆心地が広島・長崎ではなく、

他の地域の可能性も多々ありました。

また、池田さんは17歳で徴兵されたこと、自分たちの事を考えた

あと2年後で、信じられませんでした。たった17歳で、戦争に対する恐怖感も

ある中徴兵し、数年後には班長まで昇り、1945年7月15日に投下されたこと、驚いたと同時に

尊敬しました。

灰と印象に残った事は、被爆者の状態です。火に当たったおじいさんや歩いている人

は、うでを傘の前には上げておらず歩くと聞きました。その事事態は知りませんでした。

火に当たって痛くない理由は初めて知りました。また「意識」のある状態で

考えを述べて歩いていたこと、とても悲しく感じました。

最後に実際に郵画を見て、約70年以上前の戦争で活躍していたことが

最近まで生きていて、戦争の残酷さを実際に郵画を通して伝えて行くという

ことがとても大切だと思われました。また、高齢化により、戦争を体験した人が

少なくなっているとも思われました。今日の私は、子孫が、父親の体験を思いを受け、

語り継いでいくことの大切さを実感しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾を落とす場所は最初から広島と長崎に落とすと決まっていたかと思っていたので、選択技があり、天候などから決まった広島と長崎の人は本当に一瞬で命が奪われ、とても悲しい悲劇だと感じた。

池田さんは17歳という若さで軍に入らないといけなかったもので、それほど日本は人手が足りていなかったのだなと思ったし、池田さんと同じくらいの年齢で命を落とした人が沢山いると考えると、今の自分達と年代も近いので想像が出来ない。同じ班の人達にもし、かり命令を出したり、引、張っていたようなところから、軍に入、てた人達はみなそれほどの教育を受け、責任感を持ち、日本のために少しでも力になろうとしていたんだなと思った。

アメリカ軍の人達はファットマンで小倉に落とすことを失敗しても長崎で原子爆弾を投下しようとして何回も挑戦したことから、アメリカ軍の人達も日本軍の人達と同じように上からの指示で任務をこなし、帰ってきた強い心があったのだなと感じた。熱線が太陽よりも1000と熱く、それが落ちてきたときに、ほんと何にも感じず、せくなってしまうのか疑問に思った。

私は女性なので、軍ではなく入るとしたらひめゆり学徒隊のようなところだと思うが、池田さんが体験した皮膚の感触などの話を聞くと、私に比べて何にも人の助けができないような気がするので、怖かったりしても、人を助けようと必死になった池田さんほとても素晴らしい行動力だなと思った。私は少しでも人の役に立つことがしたいと受講して感じた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/10

広島^の原爆を目の前^にして見ていたとかんがえてみるとある。

京都から1番先に原爆を落す中^にリヤクニ^のおぼろにあからざったこと^に初めて知った

現^在体験の人の話や9日間^はどんたけか^にてでつら^いことかか^しること

か^できた。後^に広島原爆ドームの中^には現在^にそのとき^にいた人^が見え

るとな^まやさし^く話^して^いて^いら^した。

原爆先生^は、^いたい^はその時^にいた^たけ^でも^おの^のに^どの時^の重み[？]や

思い^がこ^もて話^して^いた^から^私自身^にも^こも^いいた。

戦争^が、^どん^たか^にお^とろ^しい^{もの}が^あら^たか^て知^られた

原爆^は2^いじ^ぶん^にか^あって1^回め^のとき^に7000[℃]の暑^さと

あ^ひて^の後^に3000[℃]の暑^さか^らら^っか^して^いたら^いい。

原爆^落下^の後^の写真^を見^てこ^の1^回の爆^発で何^万人^もの^人が^亡く

くな^って^いる^と考^える^と悲^しく^なった。

原爆^を落^すた^から^は、3^つの^条件^があ^るら^いい。

原爆^した^後のけ^しき^をみ^たの^手紙^や動^画は、本^当に^いじ^ぶん^の中^にい^じ

て^いた^こと^やそ^の人^から^死い^じぶ^んを^悲し^みな^いを^生で^感じ^いる^事が^あり^ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/10

昔、父や祖父から、戦争の話をされたことがあり、その時はまだ小さい
時だったので、そのような話にあまり感心がありませんでした。しかし、中学
に入り、戦争のことを勉強するようになってから、見近になりように思っていた
ものが急にそのような気持ちになってきました。今日勉強した、
広島と長崎の話は戦争の話ではありませんが、広島市民、長崎市民
何も関係ない人々が亡くなられて、本当の話なのか今だに信じられ
ません。しかし今日、原爆投下についてくわしく教えてもらい本当にあった
ことなんだと実感することができました。最初の方で、先生が原爆の
衝撃波の音を再現していき急にやられたときはとても驚きましたが、
おそらく被爆者の方は、驚くひまもなく亡くられた方がいたんだ
と思うと、とても恐怖にのそわわります。最後の方に原爆資料館の中
にある人形の写真がてたときは鳥肌が止まりませんでした。思わぬ
下を向いてしまうほど怖がります。広島で亡くなられた人の2万人
が、あとがたもなく亡くなられたときいて、原子爆弾の怖さを初めて
知ることができました。世界では初めて原子爆弾を落とされた国として、
世界の人々や私達の次の世代の子達にも引きついでいかなければ
いけないと思います。原爆投下についての話を被爆者の人の実
体験もふまえながら聞いた貴重な経験を聞き、もって多くの
人に原爆の恐ろしさを伝えてほしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

11/10

私はあまりおじいちゃんやおばあちゃんから、戦争の話を聞いたりしないので、
こういう話を聞いた事が本当に貴重な体験でした。

原爆の話を聞く機会があっても、被爆者の人数や爆弾の名前など、
数字や簡単な知識しか得られていなかったため、今日の話で初めて
知った事がたくさんありました。

私の中で、一番記憶に残っているのは、原爆を投下する都市の条件
があった事と、投下する都市の候補の中に神奈川県である、
横浜があった事です。

池田さんの話で、候補の中でアメリカが1番おしていたのは京都だ
ったのに、重要な文化財があるのと、アメリカが日本を占領した
時に日本人の感情をこうよして除外されたという事をおっしゃっていて、
それを聞いた時、私は「意味がわからない」「感情をこうよしてと言
っているけど、投下する時点でできていない」と思いました。

最後の動画でもあったとおり、資料や映像を見てもその痛さや苦し
さは、体験できないし、わからないかもしれないけど、あの出事が一生
もうおこらないようにしていきたいなと思いました。

しかし、今現在ウクライナで戦争がおきていて、私にはとめる事はできな
いけれど、少しでもウクライナの人に支援をしたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/10

今日、特別授業を受講させて頂いたおかげで、たくさんの方を知ることができ、とてもいい機会をもらえたなと思いました。

また、原爆を落とす場所のころには横浜、京都、新潟があったという思いがけない事実にとってもおどろき、また恐しく感じました。

そして、長崎に落とされた原爆はもとも小倉に落とされる予定であったことを、

天気の急変や機体の故障が突如あったことからも意外でした。

また、8月9日長崎の上空が曇っていたおかげで機体の故障など

いろいろなオセモが加さなかったため少し被害が減ったのだと思います。

話は若干変わりますが、長崎におとされた原爆が長さ3m重さ4.6t、

広島に落とされた原爆が長さ3.12m重さ4tもしたことで、そこから上空

から落っこちてきて、上空600mで爆発をし、秒速400mの衝撃波が

熱線が地面に当たった時にはまわりが3000°になると聞いて

もし自分がその場いたらと考えると鳥月几か止まらなかつたです。

また、爆心地のど真中にいた人は、消えて黒い影だけが残るのを聞いて

原爆の恐しさを改めて知ることもできました。

今、ロシアとウクライナが戦争をしておりよくニュースで核兵器を使うのではない

かなどよく聞きますが日本は世界でゆーいつの被爆国なのでも、と核兵器

を使わないでほしいと声をかけてほしいなとも思いました。

これから原爆による被害が増えないう願っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回原爆先生の特別授業を受講して、今まで学んできたことで感じた
出来ごとの事ごと、何倍も何倍も大きくなったような風に感じました。
今まで、1945年8月6日と8月9日、広島と長崎に落とされたという
出来事。形だけ知らされていたことの、内容も無い。
使われた原爆、どのようにして落とす、どのようにして被害が出たのか、
こと細く、死者や被爆者の数だけではない、どのようにして
人が亡くなったのか、どこで落とす、どこまで被害が出たのか、
図や写真をスライドに写したり、語っている時の口調を変えて、
私達が閉まやすく、分かりやすくしてとお願いしたりと、原爆のついで
とても滑り分かることになりました。
中でも、私が心に残ったのは、原爆が落ちた時、太陽より1000倍
と高い原爆が、上空600mの所で爆破し、その後はその
温度、熱線、衝撃波に耐えられず、一瞬にして、黒い影となり
消える。ということですが、とても想像も出来なかったようなことに
驚きました。南半球に遠くにある大陸の表面温度より暑く、近くには
あるとなると、考えるだけで恐ろしいです。
そして二人は前の話ですが、放射線によって苦しんでいる人が
今もなおいるということに驚きを隠せません。それから今回のことから戦争
の恐怖を、二人は伝へ、二度とない平和な世界にと願っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

8月6日に広島、8月9日には長崎に原子爆弾が
 投下して何万人もの死者や被爆者がいた、という事くらい
 しか今日のこの時間まで知りませんでした。なぜ
 広島と長崎におとされたのか、候補には、大都市の
 中には京都や今私たちが住んでいる神奈川の中の
 横浜があつたという事に驚きました。候補の中で一番
 推定されていた京都。京都は古い都で重要な文化財が
 たくさんあるから原爆を投下してはいけないと、アメリカの
 人達は考えた。そのような考えをもてるのなら、広島や長崎
 にも原爆をおとさなければならぬと私は思っていました。
 また、天気が悪ければいい？の中に捨てるという話を聞いた
 時は、あの時天気がもっと悪かったらこんな真にはならな
 かつたのかなとか色々考えました。私達はあの当時
 がどれほどの被害であつたのかは資料や写真などでしか見る
 ことはできない。でもその写真などはその当時生きていて、目にした人
 からおとて全く違うんだという話を聞いて驚きました。写真から
 今の私達はあの当時の人達の気持ちや記憶などは知らないんだと
 実感しました。今日、原爆、あの当時の話を聞いて改めて今私達が平和
 いられている事がどれほど大切なのかを知ることができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、今まであまり原爆を身近に感じたことが無く、原爆は「どこか遠くでおきたもの」としか思っておりませんでした。今までには自分で調べるという以外に原爆のことについて知れる方法が無かったからだと思います。

しかし、今回の原爆先生の話を知り、「本当に広島や長崎でおきたものなんだ。」と思いました。人の皮膚がはがれおちてしまうため、助けても助けられない状況にあったこと、腕を斜め前にして右往左往しながら歩いている人の話、原爆先生のお父さんの原爆に対する思いなど、たくさん学ぶ事ができました。元々は、京都に原爆を落とす事が第一候補だったことや原爆の中心温度が100万度と、太陽よりも熱いことなど知らなかったこともたくさん知りました。もちろん原爆がとても怖いものであることは知っていました。

今回の特別授業を受けてさらに怖いなという思いが増しました。原爆の話とこれからの時代を生きていく私達が受け継いで

今、生きていることに感謝したいと思いました。原爆と経験した人にしか分からない思いがあるんだろうなと原爆先生のお父さんのビデオを見て思いました。学校に行くことも、家に帰ることもあたりまえなことじゃないと知りました。今回大切な授業を受けることができて良かったなと思いました。授業を受けて家族がいついなくなってしまうのが分からないと思ったので、毎日感謝を言えたいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のことをこんなに詳しく教えてもら、たのは
今回が初めてでした。なので、今まで知らなかつた
ことがたくさん知れて良かったと思うと同時に原爆と
はこんなにも恐いものなのたなと思いました。

池田先生の原爆が落ちる時の音がリアルでゾクッとし、
怖くなりましたが、義三さんたちは音だけでなくその場に
いたのも、と怖がたろうと思いました。

今までなんで被爆者の方達が手をぶらんと前に出して
歩いているのたろうと思、ていましたが、まさか脇が擦れ
て痛くなるからたとは思、てもみませんでした。

義三さんの体験談から助けたくても助けてあげろ
れないことがどれたけつらいかが分かりました。なので、
二度と核兵器を使、てはいけな、戦争をや、てはいけな
と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

被爆者の実体験と原爆について、^{当時}兵隊だった被爆者の話は聞いた事がなかったし、ここまで怖い原爆についての話は今まで聞いた事がありませんでした。太陽より何千も熱い球体が真上にあるというのは何と想像でしょう。「何があれは」なのか。「爆弾か」と思っていたのでしょうか。「こわい」「おそろしい」「逃げない」と思っていたか。当時の人々が考えていた事はわかりませんが、あれは一種の地獄の始まりだったのでしょうか。

私が話を聞いていて一番涙ぐみ、つらいなと感じたのは「キレイ過ぎる」というたった一言の言葉でした。

被爆した事がない人じゃ分かるはずもない感想でたった一言「キレイ過ぎる」というのは原爆のおそろしさがとても感じられるような言葉でした。

それも声の音色がとてもよびよって、泣きたくてはいそいな声だったので聞いていてとても苦しかったです。

今でも原爆の後遺症で苦しんでいる人がいるので、もう二度と戦争をしない。原爆の被害国を日本だけに留める。

私に出来る事は何か考えて行きたいです。

一人では出来ない事だったとしても友達と協力して行きたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

11/10

今回、特別授業を受講させていただいたおかげで、知らなかつた事を色々知れる事ができてとても良い経験になりました。本当に原爆の落ちたような音を聞いてスゴク怖かったです。実際に聞いたらどれだけ怖いかと想像するだけで鳥肌がたててしまいました。

原爆が落とされる候補が、横浜・新潟・京都という事を聞いて、おどろきと恐怖を感じました。

長崎に落とされた原爆が長さ3m 重さ4.6t、広島に落とされた原爆は長さ3.12m 重さ4tという物が上空から600mで爆死し、上空にいるあつさは7000℃で秒速400mで地面につき地面に付いた時には3000℃という事実を知り唖然しました。太陽のあつさが6000℃でだいたイスカイツリーの第2展望台あたりから、直径200m、7000℃の球体が落ちてきたら、どれほど怖くてあついか考えるだけで怖くて仕方ありません。また、爆心地の中心にいた人は黒い影だけが残るのを知り、原爆の怖さを改めて知りました。広島市の人口は35万人で死者数が14万人という事を知りとてもかわいそうで悲しい気持ちになりました。

原爆の怖さを改めて知り、もう二度とこのような事がおきない事を願っています。これ以上の被害者を増えないように原爆の怖さを
たくさんの人に知ってもらえればいいと思いました



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

想像以上に、リアルティのある話でおどろいた。

原爆が落ちた瞬間も怖かったが、被爆者の話が、

一番心に残った。人間の皮ふがはかみ落ちて、

助けを求めている場面は、とても怖いと思う。しかし、

兵隊の人たちは、手を差し伸べ、助けようとしたところ

が、すこしいと思った。また、被爆者の遺体を、一体一体

担いで、集積場に運んだときの話を聞いて、怖くて

耳をふさぎたくなった。命令だからといって、最後まで

やりとげた兵隊の人たちは、今では考えられない

精神力をもっていた人だと思った。7000℃の物体が

上から落ちてきて、河川や、防火用水の桶に飛びこん

でも、ふ。そうして、やてられたようになってしまった。

本当に地獄だと思う。私たちは、このような悲惨な

ことが、二度と起こらないように、原爆の記録を通して

学んでいかなければならないと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

戦争の恐しさについて改めて実感させられました。原子爆弾での被害者の姿を想像したらとても胸が痛みました。同時に、どれほど平和なことが幸せであるかを感じました。全身は焼きこげ、皮膚が剥がると身体から落ちていくことが、あまりにも悲惨で本当に現実で行ったことなのか、実感できない程でした。また、原爆投下都市の候補となっていた場所が、横浜であったことにも驚きました。もし、横浜に原爆が投下されていたことを考えると、今、私が普段、当たり前のようにしている生活が出来なかったかもしれないと思い、とても恐怖でした。広島市の人口が35万人のうち、被爆者数 24万人、死者数 14万人、死亡率は40%で5人に2人の割合で亡くなったことを考えると、爆弾の威力の大きさと、こんなにも多くの尊い命を失ってしまったことを考えさせられました。原爆から77年経った今でも、後障害で悩まれている方もいます。それほど、人体に大きな影響を与え、終わらない被爆者の被害に心苦しく思います。そして、現在でも行われている核兵器の開発、計画を含め恐怖を感じます。修学旅行では、広島で実際に原爆ドームを見に行きます。あまりにも悲惨で生々しく、見るのも辛く思いますが、2度と戦争を体験する人がいないよう、次は私たちが、戦争の恐ろしさを次世代に引き継ぐ「後継者になる必要がある」と感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/10

私は今までいくつか戦争を取り扱った作品やまとめ動画を見てきました。その中でも原爆を取り扱ったものを見て心苦しく思い、同時に新しい事も知っていきました。今回の講義の中でも想像以上に収穫がありました。最初の被爆者の実話をその人の視点に立ち、物語のように語っていたのでただ単に読み聞かせるよりも理解しやすく、恐ろしさも少しだけ実感できました。重傷している被爆者や死亡している被爆者の話を聞き、その人たちにとってとてもつらく苦痛なのがおぼろげに伝わってきました。脂肪が垂れ下がり、全身がゆで上がった状態で川に埋もれるくらい人が沢山いたなどの事実を初めて知り、知った良かたと思うと同時に少し怖さも湧き上がりました。しかし、改めて深く分かったのは怪我をした被爆者だけでなく、それを見た人々もとても苦しく感じた事でした。兵士達もどうにかしてやりたい気持ち一杯で他の任務に取り掛かっていました。自分にはどちらも想像できませんが、それほど苦しいというのは伝わってきました。原爆の仕組みについても当時は理解できずに疑問に残っていたものや新しく知ったものが多く、面白かったです。後半の被爆者の話も、体験していないから少しだけ生きているありがたさが伝わってきました。そして現代に逆上り、悲惨なものが多いと言われる原爆資料館でも何となくも分かっていても、あれが生ぬるいという言葉で言われて、完全再現はできないと。そして私たちが完全に被爆者の状況、被害、心情などを理解できない事を改めて理解して悔しく思いました。それでも、当時を想像できる力がなくても、一歩ずつ、理解に歩み寄り、平和のために努力する事が大切なのではと思はれます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

特別授業の最初で話した義三さんについて、本当に怖か、たんだろうなと思っただ。自分以外のほとんどの仲間が原子爆弾という恐器で殺害される孤独心。さらに、義三さんは8/9、原爆ドーム付近にある遺体を焼いたと原爆先生が話していた。遺体にかツリニ(油)をかけて火で燃やす。この光景を義三さんがずいといと見ていたと考えると本当に「怖い、悲しい、孤独」という3つの感情を合わせた言葉では表せない気持ちだ。たんだろうなと感じた。

話は変わって、私は原爆投下都市の候補都市に入っていた京都を除外した理由が不思議だ。除外した理由は単刀直入に言うと「人間にとって重要な文化財があるから、また日本人の感情を考慮した上で判断した」と言っていた。

この～線の部分で当時の米軍に対しての気持ちが複雑になった。こういうことを書くのは悪いことだと思うが、米軍はある意味日本人を殺した。いわゆる殺人者だ。なのに「日本人の感情を考慮した上で判断した」という理由で京都を候補から外したのかよく分からなかった。でもそこにある米軍の優しさは、私の気持ちを複雑させた。そういう優しさがあるのなら最初からこんな悲惨なことをしないで欲しかった。戦争を経験した日本人が段々減ってきている。でも原爆ドームやその他の建築物があるお陰で戦争がどけただけ怖いことだから、分かるから、そういう建築物をこけからせよ」と残して欲しいと思った。また、今もなお原爆の後遺症で苦しんでいる人が沢山居るから、困もしい加減対応をとって欲しいと思った。これから同じ誤ちを繰り返さないために。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

今回原爆先生の授業を受けて、原爆についての詳細な出来事を、知識だけでなく当時の様子や人々の感情も含めて深く学ぶことができました。

先生の話し方は、とても緊張感があり、聞いている側も原爆が落とされた当時の人々のような雰囲気です。話を聞くことができました。例えば、原爆が落ちてきた時の再現でも、大きな音に皆驚き、2回目の長崎の再現でも、当時の人々のように、恐れているように感じました。

後半の説明でも、原爆の投下の様子や威力をわかりやすく示してくださっていて、想像するだけでも胸の痛みのような感じがしました。

最後のビデオでは、涙ながらに「原爆はこんな生やさしいものではない」と訴える姿に、最も心を動かされました。

授業の全てにおいて、こんなに原爆のおそろしさが伝わってきたのは、実際の体験談だからこそだと思います。

この感情をしっかりと記憶して、先生のように私たちも熱意をもって伝え継がねばならないと感じました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

思、た以上の非難とだ、た。途中で少し気分が悪くお経。
 広島&長崎に、原爆を落とした理由が経緯を聞いた。
 ただ大きい都市を狙ったってほなく、市の地形やポジション、
 空襲の有無などが判断材料だとして、天候次第でも
 言われていたかも知れない。
 原爆の熱を聞いた。直径200mのところでも1000℃と太陽の
 表面温度大きく超える熱と。地上では300℃。鉄の
 沸点を超える熱と、とて恐しかった。熱とを感じる暇もない
 状態で、一瞬で体内の水分が蒸発し、炭のようになって
 しまうらしい。怖かった



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の怖さを改めて知りました。実際に体験した人の話を聞いて
原爆の被害にあつた人は肌が赤くなり皮膚がとれたボロボロの
姿になってしまった人たちが沢山の悲鳴をあげて助けを求め、
助けようとしたけど手をつかんで助けようとしたら皮膚がボロボロの
せいで助けられず、助けを求めた人がもっと悲惨な姿になって
しまったことを想像するととても怖いです。

原爆を落とす都市の候補となつたところから広島、小倉、長崎、
横浜、新潟、京都で広島と長崎になつたのが驚きました。

候補の中で一番強く選ばれたのが京都だったけど、京都は日本の
大切な文化とかがあったから辞めたということも驚きました。

広島に落とされた原爆はリトルボーイで時速300mもあるそうです。

小倉か長崎のどちらに原爆を落とすかで小倉の天候が悪かったら
長崎にする予定でした。しかし小倉で原爆を落とすのに3回失敗
して天候が悪かったため長崎にへんこうしたそうです。

広島市人口の35万人で被爆者数24万人で死者数14万人で
死亡率40%だそうです。

5人に2人が死亡してゐる話を聞いてとても悲しいほど
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話し方が、原爆を経験した人のように、自分もその場面に入った感じに陥り、驚きました。風が吹くような音から「ドン」という音がしたら間が開いて静かな時間が続いたかと思ったり急に「下力こ!!」という音がしてとても恐怖を味わいました。原爆で亡くなってしまう方は、それ以上のなにが分からない、恐怖を味わい亡くなり、とても無念だったと思います。少しだけでもその恐怖を感じ、原爆を知ることができたので良かったです。放射線を浴びてしまった人たちが軍のトラックに登ろうとした時の話を聞いて、ゾクゾクしました。普通の歩き方をすれば、脇腹に激しい痛みを抱えながら歩くことになる。前に手を垂らしながら歩けば、皮ふのはがれ落ちた部分が手まで垂れてくる。体中赤く腫れ、うみやウゴがわいてくる、という話を聞き、原爆、戦争の悲惨さがあふれるほどに伝わってきました。私の祖父母も広島や長崎の原爆投下地に住んでいたわけではありませんが、空襲など戦争を経験しており、話を聞きます。原爆の経験者が減ってきた今、私たちが戦争、原爆の愚かさ、悲惨さを伝えていくべきだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、原爆先生の特別授業を受講して、改めて原爆の怖さを
実感しました。今まで知らなかったことをたくさん知ることができ
勉強になりました。一番印象に残っているのは戦争を体験した方
の話です。私たちが想像つかないほど怖くて恐ろしいものだった
のだと思いました。原爆が落とされた唯一の国として、原爆の
怖さを世界に発信し、もう原爆による被害が出ない平和な世の
中になって欲しいです。原爆の熱さにとってもおどろきました。
太陽よりも熱いものが落ちてくるのは想像がつかないけれど
全身の皮膚がはがれるという話を聞いてすごく怖かったです。
アメリカ軍が原爆を投下する時のエピソードや原爆を落とす
候補となった都市など詳しい話を聞くことができよかったです。
また、先生の話し方がすごかったです。静かな時間があったり、
原爆の音があったりしてとても迫力があり映画を見ている
みたいでした。原爆先生の話を聞いて原爆ドームに
行くことが少し怖くなったけど、修学旅行で行ったときには
今回の話をおもいかえしてみようと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/10

寺跡に積んできた土や門があったことで
 生き残れているのは奇跡のようだと感じました。
 訓練の体制を無意識でとれたのを聞いて普通の訓練は
 とても大事なと人たて改めて認識しました。そこから爆心地に行くまでの道で火が
 とどんととどつたようになっていくこの恐怖という人々の苦痛を考えるととても辛く胸が痛くなりました。
 全身が焼けて辛い痛みを耐えて生きようとした人々その人々をどうにか助けようとした人々も恐怖に負け
 ずに必死に生きていたことと思います。消火作業が水でできずに江戸時代のような建物を壊す方法
 でしたが火を止める方法が無かったことに衝撃を受けました。一面に広がっていると規模の大きい火災
 はその方法で消火活動をしたらたいていどれだけの時間がかかるのかと不安になりました。また
 全員で引いた建物が簡単に倒れたという事はもうすでに建物を被爆して壊れてしまったのだと思う
 建物の中には安全ではないことに恐怖を感じました。白骨化は残っていない原型も無くなった路面電車
 でも一瞬で燃えた時の熱が降り注いだらうなるほどの怖さを感じました。河川で木が無く死体
 しかないのもその死体を体にかっついて持っていかなければいけないことも辛いこと
 と思いました。帰りの途中で女小生の元につれていった男の子も姉のために
 行動ができて、女小生の痛みを泣かずに我慢していてすごかったと思います。
 今回の授業で核兵器の怖さを改めて知りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

実際に体験した方のお話を聞いて授業で習った
時よりも原爆のおそろしさを学びました。

原爆が落ちた時の音の再現でビックリしました。

けれど、広島や長崎で原爆が落ちたときとは比べもの
にならないくらいの大爆だ"らうと感じました。

私は原爆について授業で習ったたびに、「原爆では
なくて、もっと違う方法で戦争を終わらせられなかった
のかな」と思います。原爆が落ちなければ"24万人もの

被爆者は出なかったらう。反対に、原子爆弾の
威力を知ったから もう原子爆弾を使うのはやめよう
と全国は思っているのではないかなと思った。

修学旅行で、資料館に行くので、そこで勉強した
らうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の怖さを知ることができました。黒い影のシミが残った写真を見て、さきまでそこに居た人の存在が一瞬にして消え、そこに人が居たのはわかるけど、そこに居た人のことをもう誰も知らないんだと思うと、悲しかったです。原爆先生の流してくださった原爆投下ときの音をきいて、静かな時間の長さとおどろき、光と音の誤差で音がなくなった瞬間、当時の人はどんな景色をみていたのかを考えてしまいました。

よしぞうさんの「実際と記録とがあまりにも違って、何の感情もわいてこなかった」「こんなに生臭いものではなかった」という話を聞いて、その話しかからも、本当に実際はもっと汚れて荒れてひどいものだったんだと感ずることができました。また、「きれいすぎる」という一言も、実際に体験した人しか語りきれない一言だと感じました。私達が見たらきっと、ひどい、見てられないと思うけど、よしぞうさんのような方々の見た世界を私は知らないで、しょうがない反面、当時の様子を知ることができないことがもどかしかったです。

ボックスターの話もきいて、チャールズ・スウィー機長さんだけでは長崎に原爆が落とされなかったかもしれないことを知りました。あの時落とさない選択をしてくれれば...と考えるようになりました。

今回の授業を受けて、修学旅行に行き、原爆ドームも資料館を見学するときに、よしぞうさんの体験したことやよしぞうさんのビデオを思い出して、より深く知りたいと思いました。

よしぞうさんが昔の戦友と再会できていたらいいなと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この特別授業を受講して、本当に、来世に「ついで」

いかけてあげたいと「いけてほしいぞうだ」と感じました。

実際、このようはリアルで、(はせ)原爆が、そのようは場所

落ちてしまったら、原爆とは、どんなに威力の強いぞうだ、と

のかはと、聞ける機会が、(はせ)は、初めて知ったこととはと

たてさんありました。私は、実際に体験をしていはいや、

被爆者の方々のように、とらえられたい部分で、たてさん

あ、で、その時にしか出てい感情、風景(はせ)と、たてさん

あると思います。けれど、原爆は、たてさんの人の命を奪い、

恐怖、痛み、病氣(はせ)と聞かせたいぞうで、そのぞう(はせ)に

助かりたいという気持ちと、助けたいけれど、何をできる

気持ち、悲参(はせ)を見てい(はせ)か、たて時の感情は、

それ以上の何も(はせ)で(はせ)は、死(はせ)と苦し(はせ)大(はせ)思(はせ)

して来た(はせ)で(はせ)か(はせ)と思います。

このようは感情は、私(はせ)らのようは、体験した(はせ)こと(はせ)

人(はせ)らに、絶対、感じ(はせ)たい(はせ)い(はせ)ぞう(はせ)だ(はせ)と思(はせ)

その(はせ)ために、できる(はせ)だけ、悲参(はせ)は事実を、一生、伝えて

いかけてあげたいと「いけてほしい」と感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

実際に戦場を経験した方が書いた、声で伝えた内容を今回の授業で聞いて、実際被害にあっていた方や、原爆症にかかって苦しんでいる方を考えると本当に悲しい気持ちになり、想像するだけでもおそろしいと思いました。上空で原子爆弾が爆発する事を考えてみても、7000℃がどれほどの物で、衝撃波でどれだけ身が飛んで、皮がはがれおちたり、一瞬でなくなる人だった... 自分ではどのくらいなのか全くとわかりません。ですが、話にあつたような死にそれでも生きようとする人間味が、“あゝ、本当に戦争をしていたんだな”、と思える、こわい思いと共に、もう絶対に繰り返してはならない、という事を当時の人の想いを伝えてくれたのかと思います。目をそむけたくても、最後まで人を助けようと頑張ってくれた義三さん達がいたからこそ助かった命が多くあると思うので、感謝を伝えたいです。

今、戦争をしているロシアとウクライナの人々に、まちがっていることを、伝えたいです。少しでも多くの命が助かって、平和な未来がまた2つの国に来てくれると嬉しいです



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/10

改めて原爆の恐しさを知りました。特に驚いたのは原爆の中心の温度が100万℃だということ、外周の温度が本場の外周温度6000℃を超えて7000℃だということ。そして地上に落ちてくる熱線の温度は3000℃になること。聞いただけでも恐しさが感じられました。平気でその原爆を挟む国があると思うといつ落下してきてもおかしくはなく恐怖に陥りました。

原爆を落とす候補になった都市に横浜が入っていることに驚きました。現在はそれほどの平地はないと思うので昔は平地が多くあったのかもしれないと思う時代は進んだ人だと思いました。

空襲の音がリアルっぽく、その場にいるような感じがしました。音を聞くだけでそれは大勢の命を落とす音だと思いました。一番恐しかったのは影で放射線を浴びた人々は1秒立たずともそこにいた場所から消え影となってそこに残っていた。話を聞くだけでその場の想像が膨らみ恐怖心も高くなりました。池田先生のお父様の話を聞いて心に残りました。広島原爆の展示に行き、女性がやけどを負っている人形を見たとき「きれいすぎる」と言ったといわれ驚きました。

写真を見ただけでも恐怖でしかないのにその人形がきれいすぎるのなら実際は私たちが思っている以上に悲惨な形だったというのが伝わりました。私たちに関係のないことからホッと聞いて、生きているうちに経験することは無いだろうから聞かないではなく、今回この話を聞いて伝えられた。話を恐怖をこれから先の未来を生きる子供たちに私たちが教えてあげたいと思った。これから起きるかもしれない戦争を起こさないために私たちが戦争の怖さ、原爆の恐しさを知り、これからについてを考えて生きていかなければならないと私は思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、原爆先生の特別授業を受講して、改めて原爆の怖さ、恐ろしさを知れた。

原爆の音が本物みたいで当時の状況が想像しやすかった。音が大きくて少しびっくりしたけれど、実際に被爆したら、もっと大きな音だったと思うと本当に怖いと思った。

原爆の温度が、中心が100万℃、表面は7000℃、太陽と同じくらいで、地上の温度が鉄の溶ける温度より

高い3000℃だと聞いて、3000℃とか想像もできないし、

熱いどころではない高温だと思った。人の手の皮と服が

一緒にただれて助けを求めているというのは聞いただけで

とても痛々しかった。衝撃波の速さも音速より速い440mだ

と知っておどろいた。広島市人口の70%が被爆し、40%の

人が死亡したのも恐ろしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

相生祭に私は平和プラザで、原爆のことを調べたが今日の2時間をもっと詳しく知ることができた。自分でインターネットで調べると体験した人の話を聞くのでは原爆の恐ろしさの感じ方が違った。

候補に選ばれた都市に核爆が入っていたことに驚いた。私は今でも原爆の爆発の仕方は地上に着いてから爆発すると思ったが、地上から600mも上まで爆発するのを知れた。私は、爆発した時の熱さと放射線が地面に反射して2回も熱くする。

原爆が落ちる音を再現?の時、おどろかされた。あと手汗が出たことに驚いた。2回目の11時にまた落ちると予想していた時は、1回目とはまた違う感じがした。

当時、原爆を体験した人も同じように、おどろかされた感じがすると思った。

教えてもらったことをおぼえておくように、メモをしっかりとりたと思った。知が大人になって自分の子供にも原爆のことを説明できるようにする。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、今日話を聞いて今まで原爆や戦争について調べたことより何倍も怖さを感じました。原子爆弾が爆発すると熱いことも皮ふが溶けてしまうことも聞いたことはありました。けど、太陽より熱いものが600m.の場所にある、しかもそれは夏であること、足を前にたらしながら歩くのは足が溶けて痛いからなごごく分かりやすい話を聞いていたら今までにならぬ怖さを感じました。人間じゃないように婆の人、そんなことは初めて聞いたし、聞いたことのない表現で、想像するだけで三間にしわを寄せてしまいました。防火用の桶の中の水がどうして減ったのか、最初はあふれた桶だと思っていたけども、同じ状態の桶がいくつも見つかった。その話を聞いたときは、心の中では原爆が落ちる大きな音を聞いた時より驚いていたかもしれませんが、自分ではありえない話がどんどん出てきて最初は驚きだったのがぜんぜん悲しいなりました。修学旅行にたてこん学ムたていす。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

あの「授業が始まってすぐ」に、被爆当日のような原爆落下の音がとても怖かったです。音だけでなく、真直に体験した人々はもっと怖かったと思いました。授業前はなぜ「広島」に原爆を落とすのかわかりませんでした。が、(ランダムで落とすのかと聞いていました)原爆を落とす場所の候補があったことに驚きました。キレットさんは当時どのような気持ちでエラ・HXに乗っていたのか、気になりました。原爆の中心部が100万℃、周りが7000℃、太陽よりも熱いことが恐ろしく感じました。落下後の熱風で肌が焼けたというのは本人だけでなく周りの人々にもショックをあたえるものだと思います。私は勝手に原爆ドームは元々小学校だったとかんがいでいたのですが、「広島産業奨励館」だったことが知れたので、こちらについても調べてみようと思います。広島県の35万人の人口のうち、70%が被爆者、40%が死者だと思えば今現在の生活にいたるまで、現地の人々も大きく変わったと思います。今回この授業を通して学んだ戦争による原爆被害のことをふまえて、修学旅行でも学習をかねていきたいです。戦争を実際に体験した人が減ってきているので、私たちが次の世代へと受けついでいかないと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

初めてこのような授業を受ける事ができました。

詳しく調べなくては分からない事までも、沢山の情報が矢口れて驚きました。最初から広島と長崎に原爆を落とそうとしていたのではなく、他にも候補があった事、原子爆弾を投下する場所には条件があった事、爆心地から150mしか離れていないのに生きていた人がいた事など、聞く情報1つ1つが驚きでした。

1番衝撃だったのは原爆の話でした。

原爆の写真を見るだけでもとても恐怖を感じました。爆発の時に起きる衝撃波や熱線、上昇気流の強さや爆発時にできた球体の温度など、どれも現実であった事とは思えない大きさや数字でした。

そして先生の話し方がとても上手で、ついその世界に入り込んでしまっていました。

先生の話を聞いても、原爆について興味がわきました。

またこのような機会があれば話が聞きたいなと思いました。

原爆が投下される時の再現がとても小布からたてず



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今まで原爆について学んでいましたが、投下後の悲惨な状況については学ぶ機会がなかったため今回の授業は驚くばかりでした。

爆心地近くにつれて人が形を成さなくなり、流黒くたがいて所々、川に人々が集まり、その水も高温でゆでタコのようになっている場面にもものすごく恐怖を感じ、その人々想像できないほどの強い痛みを助けられず、苦しみを考えただけで涙がそそり出てしまいました。

そして都市を選定際の条件をたせ広島長崎だったのかという説明も初めて聞き、納得しました。そして熱線が太陽より熱い放射線の話を知り、より悲惨さがわかりました。

復興が進んでいますが、なお、今でも原爆症に苦しむ人が当時のことを思い出して涙が止まらない現状を見て、

数十万人の人生を狂わせてしまった原爆をとても憎く思います。

この原爆を体験した人々が少なくなっていく中で、

私達子供が未来の平和のために学び、伝えていく必要があら

改めて感じました。そして、同じことが二度と起こらないように

同じように悲しむ人が増えないためにも平和についてもっと理解を深める必要があらうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

実際に被爆した方の体験談を原爆先生に
教えてもらい、今まで原子爆弾のことについて
あまり詳しく知らなかったのが理解がとて
深まりました。被爆した人にしかわからない
においや音、景色などを感情込めて授業して
くれたおかげで原子爆弾の怖さを知りま
した。私はトラックのシートがバに残りま
した。助けたいという思いがあっても、皮膚が
焼けただれていたり、痛いと言っていたりして
助けられないのらさというものがあ
り、その感情はす、とバに
残り続けていってしまうというこ
は、戦争が終わ
た後も思い出してしまうと思
いました。また、
死体をおんぶするときは、生きた人間を
おんぶしたときの違いが生々しか
たてです。
太陽の表面の温度が6000℃なの
に對して原子爆弾の中心部分
が100万℃であるという
ことに驚きました。被爆者の方
たちは原爆症という体の傷も、
死体をつく見たバの傷も生
きていく限り残り続けてしま
うんだ”と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆が投下された事は、前から知っていたけれど、今日の授業で、初めてその当時の状況を知りました。よしろうさんや部下が生き残ったのは、ドラム缶があったおかげだと聞いて奇跡だと思いました。他に生き残った人も、何かの影に隠れたりして、奇跡だと思いました。よしろうさんの話で、川に入っていた人々が中々ダコのようになっていたり、皮膚が溶けてしまって、人間なのか分からなくなっていたという事を聞いて衝撃を受けました。生き残って、当時の状況を見た人は、一生忘れる事はできないのだろうと思いました。私は、戦争の時には、まだいなかったし、見たこともないから、動画や写真を見ても、想像することは難しいと思います。しかし、これからもう二度と戦争が起きないように、私たちが戦争について学び、伝えていく必要があると思いました。

資料館のやけどをしている女性の人物が、怖くて目をそむけてしまったけれど、よしろうさんは、あの人物にきれいな笑顔と言っていたと聞いても、とびがたのかと驚きました。

修学旅行で、しっかりと戦争について学びたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆が「投下した時の音が」、おどろかしたし、とても

怖かった。でも、原爆が「投下された時、その場

所にはいた人は、とても怖い思いをしていると思う。

原爆が「投下された都市の条約があるんだ」で

す、と思いましたが。(2)の平野があること。が、あまり

知らないで、聞いて、広島とか、

長崎、小倉、候補に選ばれた、京都

新潟、横浜と、いろいろ場所が「平野が」

あることが「知れた。横浜も候補都市に選ばれてい

たことが、おどろきました。原爆を投下して、

目標地、むすべりに投下したいところから、計算が

難しくなると「思った。長崎の原爆は、目標地から、

3kmも、離れていて

熱線が「島病院の上空600mで、温度が

すごく高いと「思いました。熱線の中は、

100万℃というのに、おどろきました、傘が

溶けてしまうのも、とてもおどろきました。

改めて、原爆の恐怖を思い出しました。

この体験を、次の世代、次の世代に「つたえていってほしいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の授業を授けて、一番印象に残っているのは、皮膚がはがれ落ちるなどという表現でした。今現在の生活では全体にあんなに想像出来ないようなひどい状態であったと想像しました。話を聞いている中で、考えたリ想像すればするほど、恐怖を感じました。また、先生が実際にマイクを使って原爆が爆発した時の音を聞いたときは、ものすごく驚きました。しかし、実際はその音の何倍も大きい音で、さらに振動なども異常だったと思うので、当時の人々は言葉に表せないくらいの恐怖だったのではないかと感じました。

義三さんは、原爆投下後の焼け野原で人間の姿と言えないくらいの死体も処理したりしていたと聞いて、私では耐えきれないと思いました。

原子爆弾についての話を聞いたときは、落とす土地の条件があって本当に残酷だなと思いました。原子爆弾の威力を他の国に見せたいのであれば、もう少し違う方法があったのではないかと感じました。また、爆発したものの周りが7000℃だと聞いて、太陽の温度より高いと知ってどんだけ熱いか想像できないくらいの熱さだったと考えると良く生きた人がいたなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆投下の都市の条件のところで「被害がでるだけ大きくなるような条件だったのでとても残酷だなと思いました。また、候補になった都市の中で京都がイチ推したたけれど、京都は1200年前からあるため、重要な文化財があるというのと、日本をアメリカのにした時の日本人の感情を考慮して京都じゃない場所にしたと知って、すごい計算高いなと思いました。そして、広島に原爆を落としたエノラ・ゲイの名前が儀長の母親の名前と聞いて、なんで母親の名前をつけたのかなと思いました。

それと、原子爆弾のリトルボーイが落とされたときの時速が300kmと聞いて、新かん線よりも速いペースで原爆が飛んでくると考えたらとても怖いなと思ったのと、落ちた後の衝撃波が2回もあるなんて恐ろしいなと思いました。そして、もう7つの原爆のファットマンを落とすときに長崎は雲っていて、ボリスカーのおんりょうも少ないのに落としたと知って、なんでそこまでして落としたい人だろと思った。そして、原爆が落ちたときに助っていてもその後にくる炎の海で助かった人達も皆焼けてしまうと聞いて、原爆の強かさを知って怖いなと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日 戦争の話しに向き合っ、改めて悲惨だと感じました。

原子爆弾を投下する場所に候補があっただなんて初めて

知りました。なにより原子爆弾の中心部が100万℃、表面が

700℃というのが1番の衝激でした。太陽の表面でも

6000℃だというのに原子爆弾はそれより1000℃も高く、

どのようにしたらそのような高温の爆弾が作られるのか疑問に

感じました。そして原子爆弾を落とす訓練(ポンプキン爆弾を

使用)をしたり、スピードなど少しでもずれてしまうと目的地

から離れた場所に落ちてしまうというところで、アメリカの人達も

ゾレッシャーを感じていたのかなとも思いました。

そして原子爆弾の被害にあつた人々がすぐに白骨化か

墨になり、地面に黒い跡が残ってしまうというのを聞いて

とても生々しく感じました。

これから先、戦争を体験してまた方々の人数が減っていつ

しまうため、私たちが積極的に戦争について調べるように

して、これからの人達に戦争のおそろしさを伝え、戦争を

体験してきた方々の思いも伝えていけたらと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、話を聞いて想像するだけで恐怖を感じましたが、実体験は
何倍ものにならない程むろろと感じました。今まで、原爆の話などは聞いた
りしていましたが、原爆により体全身が赤くなったり黒くなったり、
皮がはがれ落ちそうになって、いるだけでは聞いたことがなかった為、想像
したくないくらいに恐怖を感じました。でも実際は自分の思っているのより
もひどくて、簡単には想像出来ないようなものと思うと、何とも言え
ない苦しい気持ちになりました。広島と長崎といわれると、今私たちが
暮らしている神奈川県と遠くてどこか信じ難く感じられますが
候補になった都市に横浜が入っていて、もし横浜に原爆が落ち
ていたら、と考えるともしかしたら自分の親族の誰かが被害を受けてい
たかもしれないから、広島、長崎に家族がいて、自分だけ生きていたら
と考えてしまうと、バツ苦しく、つらい気持ちを感じました。当時17才で軍に
入り、自分と2つ程しか年の変わらない方があんな状態の人たちを見
たりして、自分だったらたえられなくなると思います。17才の義三さんは
手を差し伸べてあげたり、死体を背負ったりして本当にすごい
勇気だと思いました。今でも原爆病に悩む方たちがいるかもしれない
けれど、義三さんみたいに原爆の時のことを語ってくれて、原爆先生の方
たちのように語り継いでくれて、日本人のみならず、世界でこの話を
聞いて戦争が無い世界になって欲しいと改めて感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

/

広島に落下した原爆は、広島以外にも小倉、京都のいくつか候補があったということに驚きを感じました。また、現地の被爆者について話を聞いて、兵士の乗っているトラックに助けを求め、手をさしのべ子が、肉がたたかれ、転倒していたという話が印象に残っていて、原爆はとても悲惨だと思った。

1発の原爆で被爆者数が24万人、死者数が14万人という数字を見てとても驚いた。また、被爆者、兵士の方の話を聞いて歴史の授業だけではわからない当時の状況、悲惨さを新たに知ることができ、今、被爆者の人口が減っていくなかで、私たちが新しく知ったこと、学んだことを次の世代に伝えていかなければいけないと思った。原爆ドームが元は広島県産業奨励館だったということが初めて知った。5人に2人が原爆によってせくられたと聞いて生まれてくても生き残った人たちが多いと思う、今私たちが平和で生きていれていることがどれだけすごいことで大切なことなのかが改めて感じました。

衝撃波が太陽よりも熱い7000度で600mのところにあり、かわっていき人の黒い影のしみができていたということに驚きました。

広島に落下された原爆「リトルボーイ」の全長3m、重さ約4tのものが上空からおちてくることを知って、想像しただけで音も大きすぎるし、とても怖いと思った。今の自分たちは被爆者でもなく、話しか聞いたことがなかったから、被爆者の人たちは話を聞いている自分達よりもすごく怖さと怪我の痛み、つらさを感じていると思った。また、原爆によって今も原爆症の人たちがいるということを理解しきれないと感じた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回原爆先生の特別授業を通し、改めて原爆に
 ついて学んでみて被爆者を助けたのに助けるとか
 きな兵隊の力の想像を超えるくらい苦しい思いをして
 たことが分かりました。焼きこがれた人々を見ながら命
 命に従い、動くことしかできなかった兵隊の力は悔し
 づらかったのか、熱くて川や水が入っていたおけに飛び込
 んだの熱や光におおわれた被爆者はどれだけの痛
 かたなのかそのようなネットだけでは知ることのできない
 具体的な話を聞くことができ良かったです。原爆
 の効果を感じることを第一に考えるという当時のア
 リアの考え方に驚きました。改めて戦争そのもの自体が
 人々を狂わせ、誰かを幸せに出来ない意味の無いこと
 があると感じました。これから先このようなことが一切
 起こらないう、今日学んだことを志望者に、そして次の
 世代へと伝えていけるよう修学旅行でももっともっと
 深く原爆について知ろうと思いました。深刻さや
 臨場感が伝わってきて怖かったです。とても貴重な
 話を聞くことができたと感じます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

実際に経験した方の実話を聞けることができ、

改めてこの日本にあんなに悲惨な出来事があったことを

実感しました。熱線や衝撃波を受けて黒くやけどをしてしまった人

や皮膚がととも弱くなってはがれてしまい手を前に出して

助けを求めている様子をどうするかと、助けたくても

助けられないという状況にととも苦しくて、自分を責めたくも

なるだろうなと感じました。原爆により、2万人もの人が一瞬で

この世を去り、しみのような影と残るという事は いまだにどうぞうか

つかなしいし、信じられないです。必死にコンクリートの水の中に入り、

川でやけどした体を冷やそうとしたり、人の必死に生き抜こうとする

姿がとともすこいなと思いました。原子爆弾投下都市の条件も

あまりにも原爆を投下する理由も軽すぎるなと感じました。

原爆投下後の実際の産業奨励館や人が亡くなって影に残っている

写真がととも衝撃的でした。最後の動画で、当時の事を語り

ながら、涙を流していて、当時の辛い思いや悲しい思いが

しみ上げてきたのかなと思い感動しました。

二度とこのような事が起こらないよう、沢山のことを学んで

広めていく事が必要だなと思いました。